

NO 9	東日本大震災復興支援 東北型省CO2住宅先導プロジェクト		美しい小さな家普及会	
提案概要	東北各県を対象とする戸建住宅の新築プロジェクト。地域に根ざした大工・工務店と建材流通事業者が連携し、各社が独自の工法・材料・デザインを採用し、独創性を発揮できるようにし、実効性・波及性が高い太陽光発電等の創エネ効果に頼らない省CO2住宅を供給する。			
事業概要	部門	新築	建物種別	住宅(戸建住宅)
	建物名称	東北型省CO2住宅	所在地	—
	用途	戸建住宅	延床面積	9,025 m ²
	設計者	物件毎に決定	施工者	美しい小さな家普及会の大工・工務店
	事業期間	平成29年度～平成31年度		

概評	東北各県において、地域の大工・工務店によって省CO2住宅の供給を図る点を評価した。着実な住宅建設を通じて、東日本大震災の復興支援とともに、省CO2の普及促進につながることを期待する。
----	---

参考図

大工・工務店各社が独自の工法、材料、デザインを採用し、独創性が発揮できる実効可能な東北型CO2住宅を供給

①断熱・省エネ性能向上

■外皮平均熱貫流率U A値

【強化U A値基準】
2地域 0.4W/m²・K
3地域 0.5W/m²・K
4・5地域 0.6W/m²・K

■BELS認証

創エネ効果に頼らない
省エネ率30%以上
BELS★★★★★
(0.8≧BEI)

・BELS第三者認証取得
・住まい手に玄関等BELSが
▶表示の啓発

②CASBEE評価

・環境効率Aランク以上(自己評価)
・住まい手へのViz'リェス住宅チェックリストの推奨

③外皮性能の見える化

現場で熱貫流率(U値)を測定し数値化。壁U値を確認する。
※潜熱蓄熱塗り壁材を採用する住宅を除く。



④現場施工省力化の推奨

外壁の窯業系サイディングは施工前に工場カットしたものを持込、現場では貼付作業のみ工期短縮など省資源対策を図る。
※タイル、鉄板サイディングを採用する住宅を除く

⑤建築物省エネ法に基づく認定取得

【省エネルギー計画の概要証明】
性能向上計画認定住宅又は、低炭素住宅の認定通知書を取得する。

潜熱・蓄熱塗り壁材の推奨(内装壁材)

【ヒートショック・疾病・介護予防に寄与】
新素材PCMが一定温度を保とうとする働きで温度変化が緩やかな温熱環境を実現する。

■温熱環境のイメージ

冬：日中の日射熱を吸収し、夜間に放出し、温度低下を抑える
夏：夜間に蓄えた冷機を日中に放出し、温度上昇を抑える。



赤外線サーモグラフィ画像

